

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	既存補強コンクリートブロック造耐震性能評価 指針検討小委員会		主 査 名：菊池健児 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (壁式構造運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：稲井栄一
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、全国各地に広く建設され、耐震性を評価・判定する方法の確立が望まれている既存補強コンクリートブロック造建物の耐震性能評価指針の本文、解説および評価例を検討し、編集・刊行することを目的とする。さらに、新築建物を対象としている「補強コンクリートブロック造設計規準・同解説」や「補強組積造建築物の構造性能評価指針（案）・同解説」も含め、関連規準類の今後の改定に向けての基礎資料を作成する。</p> <p>初年度：既存補強コンクリートブロック造建物の耐震性能評価指針の本文・解説（案）を検討する。また、耐震性能評価例の案を作成する。さらに、耐震性能評価法について地震被害との関係の検証等の検討を行う。</p> <p>2 年度：既存補強コンクリートブロック造建物の耐震性能評価指針・同解説を編集し、評価例を検討する。</p> <p>3 年度：既存補強コンクリートブロック造建物の耐震性能評価指針・同解説の最終原稿を編集し、刊行する。また、今後検討して規準類に反映すべき項目の整理・検討を行う。</p> <p>4 年度：3 年度までの内容および新たに得た知見を基に検討して、規準類に反映すべき項目のまとめを行う。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：菊池健児 (大分大学)</p> <p>幹事：五十嵐泉 (COMA 建築構造研究室)，黒木正幸 (大分大学)，西田哲也 (秋田県立大学)</p> <p>委員：青木功 (エスビック)，今井弘 (毛利建築設計事務所)，植松武是 (北海道学園大学)，川上勝弥 (小山工業高等専門学校)，小室達也 (ベターリビング)，西野広滋 (トーヨー)，花里利一 (三重大学)，細川洋治 (細川建築構造研究室)，山口謙太郎 (九州大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2017 年度予算	250,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有</p> <p>委員会 HP アドレ ス：http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s5/s520/index_s520.htm</p>	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 既存補強コンクリートブロック造建物の耐震性能評価指針の本文・解説を作成・検討し、各章ごとに委員間でチェックを進めた。 2. 付録 1 の補強ブロック造の地震被害に 2016 年熊本地震を追加した。 3. 付録 2～5 の耐震性能評価例を作成し、内容の検討を行った。 4. 今後は本指針の最終原稿を編集し、小委員会で査読を行い、壁式構造運営委員会および構造本委員会の査読を受ける。
委員会活動の問題点・課題	1. 本年度から利用しはじめたテレビ会議システムもさらに活用し、指針刊行に向けスピードアップを図りたい。